

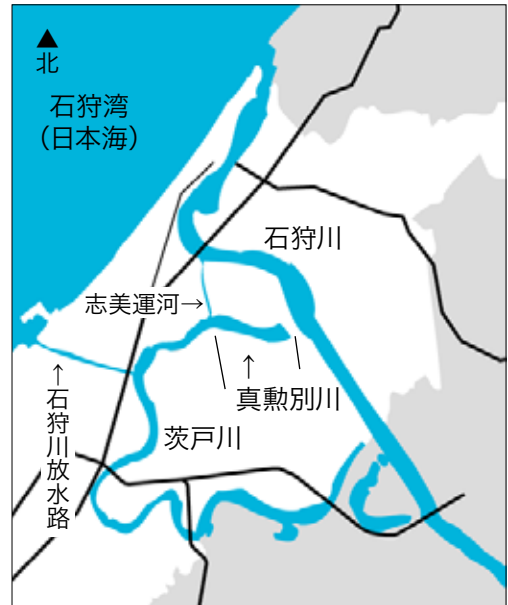
ばらとがわ・まくんべつがわ

# 茨戸川・真勲別川

「茨戸川」と「真勲別川」はいずれも石狩川の旧本流で1級河川です。生振捷水路の工事のため支流となりました。昭和40（1965）年まで単に「旧石狩川」と呼ばれていましたが、国は本流とつながる志美運河から上流20.2kmを「茨戸川」、その下流2.0kmを「真勲別川」と命名しました。川幅は2つとも約200m、水深平均2.8m（最大水深10.8m茨戸水位観測所附近）です。また、茨戸川は昭和57（1982）年、石狩放水路の完成により、石狩湾（日本海）とつながりました。

茨戸川は発寒川、伏籠川、創成川、篠路新川の4河川が石狩市緑苑台、札幌市茨戸付近で合流しています。なお、茨戸川にかかる橋は観音橋（昭和10〈1935〉年・道道508号）、花畔大橋（平成2〈1990〉年・国道337号）、生振大橋（平成7〈1995〉年・国道337号）、茨戸大橋（平成2〈1990〉年・国道231号）の4橋があり、真勲別川にかかる橋は志美運河にかかる運河橋（昭和6〈1931〉年・道道508号）だけです。茨戸川には上記の川が流れ込んでいるにもかかわらず、昭和57年「石狩放水路」ができるまで出口が志美運河だけで、年々水質の悪化が問題となっていました。現在は、官民あわせて水質浄化が取り組まれて、改善の方向に向かっています。また2つの川付近は冬季のワカサギ釣り場、オジロワシ・オオワシなどの飛来地としても有名です。

（石橋孝夫）



- (1) 石狩市（2003）石狩市年表、石狩市。
- (2) 石狩ファイルNo.59. 石狩の水害と治水。
- (3) 石狩ファイルNo.60. 生振捷水路。
- (4) 石狩ファイルNo.62. 石狩放水路。